

平成19年2月14日

岡山地区化学工学懇話会会員各位

岡山地区化学工学懇話会
会長 梶原 泰裕

「粉体ネガテクノロジー講演会」開催のご案内

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、岡山地区化学工学懇話会では、粉体ネガテクノロジー講演会・交流会を下記のとおり開催します。皆様、お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

記

日 時 平成19年3月15日(木) 13:00 ~ 19:00

会 場 倉敷アイビースクエア「オパール」 交流会は「コーラル」
(〒710-0054 倉敷市本町7-2 TEL 086-422-0011)
<http://www.ivysquare.co.jp/>

プログラム 別紙をご覧ください。

参加費 講演会 無料。
交流会 2,000円(当日徴収します。)

主 催 化学工学会中国四国支部、岡山地区化学工学懇話会

申込み 出席連絡票を3月8日(木)までに、下記出欠連絡票に明記の上、FAX、E-mail
等で事務局宛お送り下さい。

事務局 岡山地区化学工学懇話会事務局
財団法人岡山県産業振興財団(担当者:間宮)
〒701-4221 岡山市芳賀5301
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 E-mail mtsugeno@optic.or.jp

岡山地区化学工学懇話会「粉体テクノロジー講演会」出席連絡票

事務局:(財)岡山県産業振興財団(担当:間宮)御中

返送期限 3月8日(木)

団体・個人名		
連絡先	TEL: E-mail:	
出席者氏名	講演会	交流会
	出席・欠席	出席・欠席
	出席・欠席	出席・欠席
	出席・欠席	出席・欠席

プログラム

粉体ネガテクノロジー講演会 13:00~17:15

【講演1】 13:00~14:00

「粉体の付着力と付着性、その評価法」

岡山大学大学院自然科学研究科 教授 後藤 邦彰 氏

粒子に働く付着力は、粒子径が小さい方が小さい。しかし、プロセス中では粒子径が小さい方が付着性は高い。講演では、付着力の概要と共に、付着性の考え方を説明する。
また、付着性の評価方法と評価結果の一例も紹介する。

【講演2】 14:00~15:00

「乾式粉体プロセスに於ける静電気問題」

創価大学工学部環境共生工学科 助教授 松山 達 氏

乾式粉体プロセスでは、粒子と装置器壁の接触に伴って静電気が不可避免的に発生する。この静電気はしばしば、粒子異常挙動の原因とされるが、それは本当だろうか？
本講演では、静電気の発生メカニズム・測定評価法について議論し、「解っているコト」「まだ解っていないコト」を整理したい。

~~~~~ 休憩(15:00~15:15) ~~~~~

【講演3】 15:15~16:15

### 「新しい流動性評価法とその解説」

(有)IMP 代表取締役 安田 正俊 氏

振動細管式粉流体流動性試験装置(DPF-01)技術概要とそのデータ解説。  
既存のデータ(安息角、かさ密度など)との比較および解説。  
流動性評価新たな考え方とその動向。

【講演4】 16:15~17:15

### 「粉体プロセス・粉体エンジニアリングにおける失敗例と考察」

AAAMachine, Inc.(トリプルエーマシンインク)

代表取締役営業技術部長 石戸 克典 氏

粉体プロセス設計・粉体プラントエンジニアリングは、難しくなったとき経験に基づくことが多く、『勘エンジニアリング』とも呼ばれている。そのためか、気体・液体を扱うプラントエンジニアリングと比較して系統だっていないとかつて言われてきた。  
しかし、近年シミュレーション技術も進み、粉体の挙動も解析されつつあり、粉体の難しさを学問としてより深く研究し解決できるようになってきた。  
今回、この発表で過去のプラントの失敗を見直し、できるだけ多くの人と情報共有することにより、個人の知恵を万人の知恵に変えていく端緒としたい。

交流会 17:30~19:00

講師を囲んでの交流のひとときをどうぞ。  
飲酒をされる方は、お車の運転はご遠慮下さい。